



TOWN タウントピックス TOPICS

骨髄バンクドナー登録を

児童保護者に呼び掛け

6月3日、運動会開催中の松江市立津田小学校に設けられた献血コーナーの一角で、骨髄バンクのドナー登録会が行われた。訪れた児童の保護者らが、ドナー登録についての説明を受け、賛同し登録する姿もあった。



松江の会のメンバーは全員が「日本骨髄バンク説明員」の有資格者。丁寧に分かりやすく、登録への流れなどを説明する④、基礎知識などが掲載されている骨髄バンクドナー登録のしおりとしまねまごころバンクの缶バッジなど

松江の会メンバー 津田小で説明会

この日、ドナー登録についての説明を行ったのは、島根県からの委託で移植医療の普及啓発を行うしまねまごころバンク(出雲市)と、ボランティアで活動している骨髄バンクを支援する松江の会(会長・金森金好さん)のメンバー。

松江の会は2010年4月、血液の難病患者を救うため、ドナー登録を増やしたいとの思いから設立され、現在10人の会員が松江市内の各会場で熱心に取り組んでいる。

骨髄移植が可能な白血球の型は家族でも適合しないことが多いため、「ドナー登録者数を増やして、白血球の型が合う確率を増

やしたい」と、啓発活動に力を入れる。

ドナー登録できるのは、18歳以上54歳以下(その他条件あり)。今年3月末現在のドナー登録者数は、全国で47万270人、そのうち島根県は4135人。対象人口比というと島根県は7位で全国平均より多く、若年層(20代)の登録比率も全国平均を上回っている。しかし、30歳代、40歳代が多くを占め、ドナー登録期間が54歳までということを考えると、若い世代の登録が強く望まれる状況となっている。

金森会長は「命に直結することなので、一人でも多くのドナーさんが増えてほしい」と話していた。

ボランティア会員として活動したい方も募集中。また、日本骨髄バンクでは講演依頼にも応えている。各種問い合わせは金森さん(☎090・7978・3112)へ。